

記入例（実績報告書）

令和7年 3月 31日

社会福祉法人逗子市社会福祉協議会
会 長 殿

請 求 者 団 体 名 傾聴ボランティア まごころ会
代表者氏名 逗子 あゆむ ⑩
住 所 逗子市桜山 5-32-1
電 話 番 号 046-873-8011
ファクシ番号 046-873-8011
e-mail vc@zushi-shakyo.com

赤い羽根共同募金福祉活動助成金実績報告書の提出について

社会福祉法人逗子市社会福祉協議会赤い羽根共同募金福祉活動助成金交付要綱第7条の規定により、別紙のとおり実績報告書を提出します。

記

1. 提出書類 (1) 事業助成 実績報告書 (別紙1-①・1-②・1-③・1-④) (1) 部
(2) 機材助成 実績報告書 (別紙2-①・2-②・2-③・2-④) (1) 部

複数の事業助成を受けた場合は、事業ごとに別紙1-①、1-②、1-③、1-④を作成し、提出してください

(別紙1-①)

事業助成 実績報告書

令和7年 3月 31日提出

1. 申請事業名 (申請書に記入した申請事業名を記載してください)
傾聴講座
2. 開催日時、回数
申請事業の合計開催回数 <u>3</u> 回 開催日時: 令和6年7月27日(土) 10時~12時 令和6年11月23日(土) 10時~12時 令和7年3月22日(土) 10時~12時
3. 開催場所 (会場・行先など)
逗子文化プラザ市民交流センター
4. おもな対象、参加予定人数
おもな対象 <u>市内在住、在勤、在学の方</u> 団体構成員以外も対象の場合は <input checked="" type="checkbox"/> → <input checked="" type="checkbox"/> 申請事業の合計参加人数(延べ) <u>90</u> 名 (うち逗子市民の参加人数: <u>84</u> 名)
5. 具体的な事業内容及びその目的
傾聴の知識向上と会員を増やすことを目的に開催した。傾聴に関する講義とロールプレイを中心に行った。講師は〇〇大学の〇〇先生にお願いした。前半は、傾聴の知識と技術を講義形式で学び、基礎的なコミュニケーションの理論だけでなく、日々の活動を意識して、施設入所者や認知症の方への傾聴の方法と注意点についても学んだ。後半は、少人数のグループに分かれてロールプレイを行った。技術的なことばかりではなく、心構えについても受講者に伝えていった。
6. 事業を行なったことで得られた成果と今後の展望
会員からは「知識や技術への不安が、今回の講座で解消された」、「ロールプレイを通して、相手が自然に笑顔になることが嬉しくなり、また頑張ろうという気持ちになった」といった声があり、会員のスキルアップや活動の意欲向上にもつながったと考える。また、会員以外の市民からも好評で、今回の講座をきっかけに、3名が会員として仲間入りした。今後も傾聴講座を開催していきたい。

複数の事業助成を受けた場合は、事業ごとに別紙1-①、1-②、1-③、1-④を作成し、提出してください

(別紙1-②)

事業助成 実績報告書

令和7年 3月 31日提出

団体名	傾聴ボランティア まごころ会
事業名	傾聴講座
本助成金は共同募金（赤い羽根募金・年末たすけあい募金）が原資となっています。募金者の方々や募金を集めてくださった方々へメッセージをお願いします。 ※社協の広報紙、ホームページ等で団体名、事業名とともに公表させていただく可能性があるのをご了承ください。	
傾聴ボランティアとは、相手の話を「聴く」ボランティアになります。今年度、会員や傾聴ボランティアに興味がある方を対象に、「傾聴講座」を計3回開催しました。講師は〇〇の先生方を招いて、傾聴の基本などの講話や参加者同士で話し手、聞き手に分かれて演習などを行いました。参加された方からは「知識や技術への不安が、今回の講座で解消された」、「ロールプレイを通して、相手が自然に笑顔になることが嬉しくなり、また頑張ろうという気持ちになった」といった感想をいただき、会員のスキルアップや活動の意欲向上にもつながったと考えています。また、今回の講座をきっかけに、3名が会員として仲間入りしてくださいました。ありがとうございました。	

活動の様子がわかる写真や成果物等を添付してください

（社協の広報紙、ホームページ等で公表する場合がありますので、

必ず公表可能な写真にしてください）

収まらない場合は貼り付けず別途ご提出ください

写真は、以下のアドレスにメールで

お送りいただいても構いません。

[vc@zushi-shakyo.com]

複数の事業助成を受けた場合は、事業ごとに別紙1-①、
1-②、1-③、1-④を作成し、提出してください

(別紙1-③)

事業助成 実績報告書

令和7年 3月 31日提出

申請事業名：傾聴講座

※「別紙1-①」の「1. 申請事業名」を記載してください

【収入】

項目	予算額	決算額	説明 (内訳を記載)
社協助成金	46,000	46,000	
会費	10,000	10,000	年間500円×会員20名
講座参加費	30,000	30,000	(500円×20名)×3回
合計	86,000	86,000	

【支出】

項目	予算額	決算額	助成金充当額	説明 (内訳を記載)
講師謝礼金	30,000	30,000	30,000	10,000円×3回
交通費				
消耗品費	25,000	25,000	7,000	チラシ用紙、講座資料用紙など
印刷製本費	20,000	20,000		チラシ・講座資料の印刷代
通信運搬費				
保険料				
使用料および賃借料	9,000	9,000	9,000	3,000円×3回
茶菓子代	2,000	2,000		講師への茶菓子代
合計	86,000	86,000	46,000	

複数の事業助成を受けた場合は、事業ごとに別紙1-①、
1-②、1-③、1-④を作成し、提出してください

(別紙1-④)

事業助成 実績報告書 収支を証明する証票の写し

令和7年 3月 31日提出

【添付欄】 (1枚で収まらないときにはコピーしてお使いください)

団体名：傾聴ボランティア まごころ会

複数の機材助成を受けた場合は、機材ごとに別紙2-①、2-②、2-③、2-④を作成し、提出してください

(別紙2-①)

機材助成 実績報告書

令和7年 3月 31日提出

1. 申請機材名 (申請書に記入した申請機材名を記載してください)
i P a d
2. 申請内容 ※該当する項目に☑
<input checked="" type="checkbox"/> 購入 <input type="checkbox"/> 修繕
3. 申請機材を使用した事業名
傾聴ボランティア活動
4. 使用した人
会員
5. 使用回数
年12回
6. 使用場所
逗子市福祉会館
7. 機材使用場面及びその目的
年間12回の高齢者施設での傾聴ボランティア活動のうち、5回が新型コロナウイルス感染症により、施設でのボランティア受け入れが難しくなったため、その時はiPadを活用し、リモートで傾聴を行った。また、残りの7回は、ボランティアの受け入れ人数制限を受け、1名のボランティアは福祉会館からリモートで傾聴を行った。
8. 申請機材を使用することによって得られた成果と今後の展望
高齢者施設でのボランティアの受け入れが難しい時でも、傾聴ボランティア活動を続けることができたことは、大きな成果となった。実際、ある利用者からは、「施設での外部受け入れ制限により人との交流が減ったが、傾聴ボランティアの皆さんにはこれまで通り話を聴いていただけて、大きな心の支えになりました」という声をいただいた。施設職員からも、「リモートで対応いただけるのはありがたい。今後も続けてほしい。」という感謝の言葉をいただいた。今後もiPadを活用し、途切れることなく活動を続けたい。

複数の機材助成を受けた場合は、機材ごとに別紙2-①、
2-②、2-③、2-④を作成し、提出してください

(別紙2-②)

機材助成 実績報告書

令和7年 3月 31日提出

団体名	傾聴ボランティア まごころ会
機材名	i P a d
<p>本助成金は共同募金（赤い羽根募金・年末たすけあい募金）が原資となっています。募金者の方々や募金を集めてくださった方々へメッセージをお願いします。</p> <p>※社協の広報紙、ホームページ等で団体名、事業名とともに公表させていただく可能性があるのをご了承ください。</p>	
<p>傾聴ボランティアとは、相手の話を「聴く」ボランティアになります。例年、高齢者施設での傾聴ボランティア活動を行っていますが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、施設に訪問できず活動ができない日もありました。そのような時でも活動ができるよう、今年度はi P a dを購入し、リモートでの傾聴活動を行いました。ご利用者様からは、「施設での外部受け入れ制限により人との交流が減ったが、傾聴ボランティアの皆さんにはこれまで通り話を聴いていただけて、大きな心の支えになりました」という声をいただきました。また、施設職員の方からも、「リモートで対応いただけるのはありがたい。今後も続けてほしい。」という感謝の言葉をいただきました。今後もi P a dを活用し、途切れることなく活動を続けたいと思っています。ありがとうございました。</p>	

活動の様子がわかる写真や成果物等を添付してください

（社協の広報紙、ホームページ等で公表する場合がありますので、

必ず公表可能な写真にしてください）

収まらない場合は貼り付けず別途ご提出ください

写真は、以下のアドレスにメールで

お送りいただいても構いません。

[vc@zushi-shakyo.com]

(別紙2-③)

複数の機材助成を受けた場合は、機材ごとに別紙2-①、
2-②、2-③、2-④を作成し、提出してください

機材助成 実績報告書

令和7年 3月 31日提出

申請機材名： i P a d

※「別紙2-①」の「1. 申請機材名」を記載してください

【収 入】

項 目	予算額	決算額	説 明 (内訳を記載)
社協助成金	22,000	22,000	
積立金	46,800	46,800	
合 計	68,800	68,800	

【支 出】

項 目	予算額	決算額	助成金充当額	説 明 (内訳を記載)
備品費	68,800	68,800	22,000	i P a d 本体代
修繕費				
合 計	68,800	68,800	22,000	

複数の機材助成を受けた場合は、機材ごとに別紙2-①、
2-②、2-③、2-④を作成し、提出してください

(別紙2-④)

機材助成 実績報告書 収支を証明する証票の写し

令和7年 3月 31日提出

【添付欄】 (1枚で収まらないときにはコピーしてお使いください)

団体名：傾聴ボランティア まごころ会